

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年4月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300450
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム 太陽の家
所在地	鹿児島県鹿屋市今坂町12405番地25 (電話) 0994 - 44 - 6581
自己評価作成日	平成31年3月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年3月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当法人は県内に複数の事業を展開し、幼児教育・高齢福祉・障害者福祉の他に農園・加工場・直売所など三十施設程運営しています。運営者は太陽のごとくわが身を燃やして万物に恵み(愛)をとの思いで「太陽の家」と命名し、相手を思いやる「敬心」の心を大切にしています。職員はその理念の下、入居者様に和顔・愛語で接し、安心と安全を提供し、その方に寄り添った質の高い介護を目指しています。また、地域密着型サービスとして、地域との交流や地域サロンのお手伝い、認知症オレンジカフェを毎月開催し、認知症になっても安心して暮らせる町作りに貢献しています。さらに、24時間医療連携体制を整備し、看取りも行っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当法人は県内に幼児教育・高齢福祉・障害者福祉等の施設運営をしており、隣接の保育所の園児との交流を楽しんでいる。
- ・職員間のチームワークが良く相手を思いやることを大切にしており、一人ひとりの尊厳を大切にしている。全職員で意見を出し合いより良いサービスを目指している。
- ・協力医療機関との24時間医療連携体制が整っている。看護師が常勤し看取り看護も対応している。
- ・自治会に加入し地域の奉仕作業や行事に積極的に参加している。ボランティアの受け入れや月1回のオレンジカフェの開催には地域住民の参加もある。地域サロンに職員が手伝いに行き地域との交流を図っている。
- ・利用者の個々の力量に応じて、メリハリのある楽しい暮らしの支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした入居者主体の共同生活をホームの理念にあげ、ケアの介護目標や理事長の想いとともにもホームに掲示し、介護の基本となるように努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念と、年度初めに職員で話し合った介護目標等を玄関に掲示し、ネームプレートにも記載している。ミーティングや職員会議で振り返りケアの実践を確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の行事や祭りなどに参加し、中学生の職場体験や実習生の受け入れをしている。オレンジカフェを毎月開催し、地域の方に参加していただいている。	町内会に加入し、年3回の奉仕作業・運動会・秋祭り等に参加し地域の人達と触れ合っている。日常的には散歩や買い物時のあいさつや隣接の保育所の園児と交流がある。中学生の職場体験学習や実習生も受け入れている。オレンジカフェを毎月開催し家族や地域の方々と交流したり、地域サロンに職員も手伝いに行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内のサロンに職員がお手伝いに行ったり、毎月オレンジカフェ（認知症カフェ）を開催し、介護保険の相談や、認知症予防の体操、製作などを行い認知症についての啓蒙活動を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>民生員や家族会の会長、市役所包括支援センターの方々の参加を頂き状況報告と改善点を話し合いサービスの向上に生かしている</p>	<p>2ヶ月毎に定期的実施しており入居者の状況・事業所の活動状況・ヒヤリハット・事故報告・外部評価の報告等を行っている。意見やアドバイスをもらい、職員は会議の内容を会議録で共有し、検討してサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や他の会合などで連携を取り事業所に必要な情報を得ている。また、介護料未納者や、家族介入の困難事例について相談し、対策を講じている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口で連携を取っている。運営推進会議でも助言を貰っている。認知症サポーター養成講座の講師依頼を受けたり、徘徊模擬訓練講座にも参加している。行政主催の研修会には、積極的に参加して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を3か月に1回開催し、身体拘束につながる事象はないかスタッフ全員で確認しあっている。</p>	<p>マニュアルを作成し、身体拘束委員会と安全委員会が合同で3ヶ月に1回研修を開催している。言葉の拘束も含め、禁止となる具体的な事例を出して話し合いをしている。玄関の施錠は日中はせずに外出したい時は、散歩したり一緒にゴミ出しに行ったり、落ち着くまで対応して、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングや勉強会を取り入れ全職員で理解を深め虐待防止に心がけている。管理者は職員の心のケアを心がけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会や勉強会に参加し理解を深めるようにしている</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約は十分時間をかけて重要事項説明書に基づきホームの理念や介護に関する考え方を説明している。改定時は家族会を開いて説明し、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の面会時や家族会時に家族の意見を聞き運営に反映させている。入居者様は、日常の会話や仕草から、意見や思いを把握している。</p>	<p>入居者からは日頃のケアの関わりの中で把握している。家族からは年2回の家族会や面会時に話を聞いたり、気づきメモを活用している。家族会では職員が入らず、家族同志で話をする時間を設定し、気楽に意見を出せるように対応している。施設の補修の要望が出され、改善に取り組むよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングで意見や気づきを出してもらい。管理者は年2回個人面談を行い運営に関する意見や提案を聞いている。また、個人の目標を設定して、進捗状況を聞いている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とコミュニケーションをとり、話やすい雰囲気而努力している。毎月のミーティングやその都度提案を聞いたり、個人面談も年2回行っている。資格取得費用を施設が全額負担する等、個人目標をバックアップし資質向上に努力している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努力している。</p>	<p>代表者は、毎月管理者会議で運営状況や職員の状況を把握し、職場環境や条件などの整備を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>モチベーションをあげる勉強会や職場環境を整える話し合いを行っている。レベルアップの研修や資格取得の支援をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者と交流し、情報交換をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と面談しゆっくり話をしながら、心身の状況や生活歴・既往歴・要望などを聞き、入居前に本人の状況を把握し、入居時の不安を和らげるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に介護状況や悩みなどをお聞きし、ホームの理念や介護に対する考え方を説明している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族と本人を交えた会話の中から、必要な支援を検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事や料理・季節の行事などの生活面で入居者様から、教えていただく機会を意図的に作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	夏祭りやクリスマス会など一緒に過ごす機会を設けたり、家族の役割をケアプランに位置付けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物や散歩など外出の支援や家族と墓参りや外食、美容院などの支援をしている。	入居時に馴染みの関係を把握している。孫・ひ孫・知人の面会が多く、女学校時代の友人の面会もある。年間計画をたてて初詣や花見・バラ園・買い物ツアー等に出かけている。家族と馴染みの美容室・外食・墓参り等に行き、家族がいけない場合は職員が同行している。家族の協力を得て、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合うお友達とおしゃべりができるように座る位置を変えたり、事あるごとに職員が間に入りコミュニケーションを図れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要は方は退去後も交流を持っている。また、入院中の方は、お見舞いに行ったり、担当の相談員と連絡を密にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の言動に気を配り思いをくみ取れるように、申し送りやミーティングで情報を共有している。余暇の時間の過ごし方も趣味や興味あることを取り入れている。	昼ごはんの後等に声かけをしたり、表情・仕草から思いや意向を汲み取っている。「支援経過記録」から職員間で情報を共有している。困難な場合は本人の好きな音楽をかけたり声かけして、表情や仕草で把握して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との談笑の中で昔話を「聞いたり、これまでの生き方や考え方を聞き出すように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りの中で一人一人の状況を確認している。また、毎月のミーティングで生活状況や気づいたことをスタッフ間で共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人家族の希望や主治医の意見を把握し、職員の気づきも反映させて、介護計画を作成している。	本人・家族の希望や意見を聞き、主治医の意見を入れて、職員の意見やアイデアを活かした介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況が変化した時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活の様子やケアの結果を個人記録に記載し、職員間で情報共有しながら、介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々に必要な日用品の購入や買い物支援、通院の支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ミカン狩りやバラ園見学などでかけたり、かやの郷へ買い物にいたりしている。また、ボランティアを受け入れたり、している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の意向に沿って往診医と連携をとり24時間医療連携体制を整備し、夜間や緊急時の対応もできる。歯科医も訪問診療が受けられるようにしている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医である。定期受診は主に家族が付き添い、家族が行けない場合は職員が同行している。受診前に家族にバイタルチェックの記録を提供している。24時間医療連携体制が整っており緊急時は職員が医療機関へ同行し適切な医療を受けている。歯科は訪問診療を受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師が常勤で勤務しており24時間対応できる体制である。介護職員がとらえた情報や気づきを看護職員に相談している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時介護サマリーを添付し状況を伝え入院中主治医や担当看護師や医療相談員と連携を取り早期に退院ができるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時看取り指針の説明を行い同意を得ている。重度化した場合は主治医と家族と会い、今後予測される経過を説明し、終末期に向けた方針を話し合い、職員・家族・主治医と共有しながら看取りに取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針は入居時に本人・家族に説明し同意を得ている。状況変化時は主治医・家族・職員で話し合い、家族の意向を確認し共有しながら対応している。看護師が数名在籍しており、看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救命救急の講習を受け実践に備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>保育園と合同の避難訓練や自主訓練と消防署立会の防災訓練を実施している。また、その都度、反省点を話し合っている。緊急装置に地域住民にも連絡が行く体制になっている。</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。そのうち1回は消防署立ち合いで実施している。もう1回は自主訓練で隣接の保育所と合同で消防署に計画書を届けている。消火器・非常灯等の防災器具は業者による点検を定期的に行っている。緊急連絡網には地域の代表も入っていて住民の協力がある。備蓄は水・米・レトルト食品等があり、ガスコンロも用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳や権利の重要性を認識しプライバシーを損ねない支援をしている。	マニュアルがあり権利擁護・人格の尊重・プライバシーの確保についての勉強会を実施している。居室に入室する際やトイレ介助時の声かけ・入浴の際の羞恥心に配慮した支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の気持や権利を守る事を重視し、声掛けや対応を行っている。入居者の誇りやプライバシーを損ねないように声掛けに配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調を配慮しながらに入居者の生活リズムに合わせ食事や入浴、昼寝、レクリエーションなどを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問散髪を2カ月1回頼んでいる。又、衣服が食事などで汚れた場合は随時更衣している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや食器洗いなどができる方にはして頂いている。季節の行事に合わせた献立にし食事を楽しめるように取り組んでいる。また、嚥下障害などある方には、形態を工夫している。	職員が担当で献立を作成している。食事形態は個々に合わせている。季節感のある食材や行事食・外食等で食事が楽しみなものになっている。野菜の皮剥き・食器洗い・お盆拭き・下膳等、職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量や水分量を確認して必要な摂取量が確保できるようにしている。必要に応じた飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状況に応じた口腔ケアを行っている。口腔ケアについて、必要時、歯科衛生士にみてもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で入居者ごとの排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄を心がけている。	排泄チェック表を活用し、タイミングや仕草・表情から思いを察知し、トイレでの排泄を心がけている。水分・食事の摂取状況も把握しながら支援している。夜間のみポータブルトイレを使用する利用者もいる。羞恥心に配慮し、介護用品も個々に合わせて使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便習慣を付けるようにトイレに座っていただいたり個々に合った便秘対策を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者のその日の体調に合わせて入浴を支援している。入浴の拒否のある方は、タイミングを考えたり、声掛けや誘導を工夫している。	入浴は週に3回午前中に行い、その日の体調や気分に合わせて柔軟に対応している。仲の良い利用者同士で一緒に入ることもある。入浴を拒む利用者にはタイミングをみて声かけの工夫をしている。脱衣所のエアコンで温度調整をしたり、特殊浴槽も設置している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床・就寝の時間はその方のペースに合わせている。又、個々の状況をみて昼寝を促している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や薬の説明書を整理し全職員が確認できるようにしている。変更があった場合は、申し送りノートに記載し、全員が把握できるようにしている。服薬時はダブルチェックしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野でその方の力を発揮出来そうなことをお願いして感謝の言葉を伝える。経験や知恵を発揮できる場面を作る。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ホーム周辺の散歩やテラスでのお茶会や外気浴を楽しんでいる。季節ごとの行事でドライブを計画し、バラ園見学・紫陽花見学。・ミカン狩り・お買い物ツアーなどを実施している。	天気の良い日はテラスで外気浴をしたりホームの周辺を散歩している。年間計画をたてて、ドライブ・みかん狩り・紫陽花見物・そうめん流し等の外出を行っている。買い物に行き自分で支払って楽しんでいる。家族の協力を得ながら遠方にも外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の支援で少額のお金を所持している方もいる。家族よりお金を預り、ホームで管理し、買い物ツアーなどで使えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族よりの電話を取り次いだり、本人の要望があった場合は電話できるように支援してる。携帯電話を所持している方もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの天井が高く柔らかい採光が得られる。季節感を感じられるように、壁画を季節ごとに変えている。	リビングは天窓があり天井が高く、採光が柔らかくゆったりした広さがある。室温・湿度・換気が適切である。壁面に季節の飾り付けや外出時の楽しい写真・利用者の作品が飾ってある。ソファが置かれ利用者はテレビ鑑賞やカラオケ等を楽しんでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのテーブルやソファの配置を考え会話ができたり、一人で過ごせたりできるように支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族写真や仏壇など馴染みの物を置き、居心地の良い居室空間作りを心掛けている。	居室にはエアコン・ベッド・ダンス・洗面台が設置してある。家から持ち込まれたテレビ・暦・椅子・位牌・時計・ぬいぐるみ等が置かれ落ち着ける部屋となっている。職員と家族で動線を考え、住みやすい部屋づくりになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室は和解やすく目印を付けたたり手すりを設置している。状況の合わせ洗濯物たため、台所仕事を無理なくできるように支援している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない